

作成日：2006年01月18日
改訂日：2022年03月31日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	スカットワイプⅡ
会社名	光陽化学工業株式会社
住所	大阪市城東区森之宮 2-3-5
担当部門	営業部
電話番号	06-6969-1821
FAX 番号	06-6969-1825
推奨用途及び使用上の制限	清浄用ウェットクロス

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
	発がん性	区分 1
	生殖毒性	区分 1
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1, 2

*記載がない危険有害性は「分類できない」または「区分に該当しない」である。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（肝臓）

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）

注意書き

安全対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/ミスト/蒸気を吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

保管

・容器を密閉し、涼しく換気のよい場所に施錠して保管すること。

廃棄

・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物（不織布に下記混合物を含浸させたもの。含浸量；約 6.3g/枚）
不織布（アクリル、ナイロン、ポリエチレンテレフタレート）

成分名	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号	含有量(%)
水	H ₂ O	7732-18-5	対象外	85～95
エタノール	C ₂ H ₅ OH	64-17-5	2-202	5～15
パラオキシ安息香酸エステル	—	—	—	0.5 未満

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。応急措置の後、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で皮膚を洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。応急措置の後、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 不織布を吐き出させ、口をすすいだ後、医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護 : 保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤 : 情報なし

火災時の措置に関する特有の危険有害性 : 火災によって刺激性もしくは有毒なガスを発生する可能性があるため、消火作業の際はこれらを吸入しないように注意する。

特有の消火方法 : 消火作業は可能な限り風上から行う。移動可能な製品は、速やかに安全な場所に移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。製品周辺が火災のときは安全な場所に移動する。

消火を行う者の保護 : 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。風下の人を避難させ、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際は保護具を着用し、皮膚に付着したり、ガスを吸入したりしないように注意する。

環境に対する注意事項 : 河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材 : 少量の場合
含浸液が漏出した場合、乾燥砂、土、等に吸収させ、密閉できる容器に回収する。
大量の場合
大量漏出のおそれはない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 使用後は液の蒸発を防ぐため、フラップラベルをきちんと閉めること。
- 局所排気・全体換気 : 適切に局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項 : 人体には使用しないこと。
- 接触回避物質 : 「10. 安定性及び反応性」の項 参照
- 衛生対策 : 「2. 危険有害性の要約 注意書き 安全対策」の項 参照

保管

- 安全な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH TWA
エタノール	—	—	1,000ppm (2009年版)

- 設備対策 : 適切に局所排気、全体換気を行う。
取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク
- 手の保護具 : 耐薬品性手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な作業服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 物理状態 : ウェットクロス
- 色 : 白色
- 臭い : アルコール臭
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 78℃ (エタノールの成分情報)
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : 5 (代表値: 含浸液)
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : データなし
- n-オクタノール/水分配係数(log Pow) : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 密度及び/又は相対密度 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし
- その他のデータ : 溶解性 : 含浸液は水に溶解

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 通常の実用条件において安定である。
- 化学的安定性 : 通常の実用条件において安定である。
- 危険有害反応可能性 : 燃焼により、刺激性もしくは有毒なガスを発生する可能性がある。
- 避けるべき条件 : 直射日光、高温
- 混触危険物質 : 情報なし
- 危険有害な分解生成物 : CO

1.1. 有害性情報

成分情報) エタノール

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない	ラット	LD50 : 6,200mg/kg
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない	ラット	LDLo50 : 20,000mg/kg
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 区分に該当しない	ラット	LC50 : 63,000ppm
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない	ウサギ	4時間ばく露試験 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: 区分 2B	ウサギ	ドレイズテスト 中等度の刺激性 角膜混濁、虹彩炎
発がん性	: 区分 1A	IARC	: グループ 1
生殖毒性	: 区分 1A	ヒト	摂取 食道などに悪性腫瘍を誘発 ヒト 出生前に摂取 新生児に胎児性アルコール症候群 (小頭症、短い眼瞼裂、関節、四肢及び心臓の異常。発達期における行動及び認知機能障害)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分 3	ヒト	吸入暴露 気道刺激、感覚麻痺、嗜眠、呼吸抑制
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分 1 : 区分 2	ヒト	長期大量摂取 肝臓の脂肪変性、肝硬変 ヒト 依存症患者 痙攣

*記載がない危険有害性は「分類できない」「区分に該当しない」または「区分情報なし」である。

1.2. 環境影響情報

生態毒性	: 特記する情報なし
残留性・分解性	: 特記する情報なし
生体蓄積性	: 特記する情報なし
土壤中の移動性	: 特記する情報なし
オゾン層への有害性	: 特記する情報なし

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 処理業者には危険性、有害性を充分告知の上、委託すること。
汚染容器・包装	: 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1.4. 輸送上の注意

国内規制	: 特段の規制なし。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、破損のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

1.5. 適用法令

安衛法 危険物	: 非該当
特化則	: 非該当
有機則	: 非該当
表示物質	: エタノール
通知対象物	: エタノール (政令番号 第 61 号)
がん原性指針	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
PRTR 法	: 非該当
消防法 危険物	: 非該当
船舶安全法 危規則	: 非該当
航空法 施行規則	: 非該当
海洋汚染防止法 海洋汚染物質	: 非該当

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先 : 光陽化学工業株式会社 営業部
電話番号 : 06-6969-1821
FAX 番号 : 06-6969-1825

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象としたものであり、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

参考文献 : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 公開データ
JIS Z 7253 : 2019
一般社団法人 日本化学工業協会「GHS 対応ガイドライン」